

とっとり とよおか みやづ とっとり ふくべ の道路の計画検討
鳥取豊岡宮津自動車道(鳥取～福部) に関する
ワークショップだより Vol.3

たくさんのご意見ありがとうございました。
みなさまから頂いたご意見をとりまとめました。

開催結果概要

日付：令和元年9月21日（土）
令和元年9月22日（日）

場所：鳥取市福祉文化会館 2階 会議室

討議テーマ：「各ルート帯（案）が整備される場合、『不安に思うこと』と『不安を解消・低減するアイデア』について考えてみよう！」

参加者：R元.9.21（土）：32名（全6班集体）
R元.9.22（日）：16名（全4班集体） 総勢48名



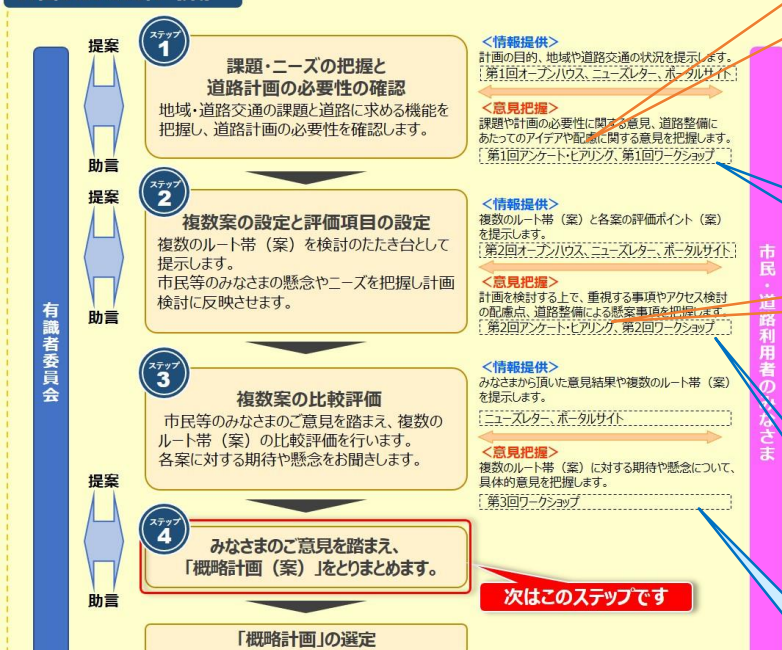
R元.9.21



R元.9.22

鳥取～福部の検討は地域の皆様と段階を踏んで進めています。

計画検討の流れ（案）



●第1回アンケート・ヒアリング概要
日時：平成30年5月25日（金）～
質問事項：「地域・道路交通の課題」
「地域が求める道路の役割や機能」
「計画する上でのアイデアや配慮事項」

●第1回ワークショップ概要
日時：平成30年9月8日（土）、29日（土）
討議テーマ：地域の道路や交通で困っていること
鳥取～福部間の道路が利用しやすくなるための工夫と配慮すべきこと
参加者：総勢59名

●第2回アンケート・ヒアリング概要
日時：平成31年2月1日（金）～
質問事項：「ルート帯（案）を検討していく際に重視すべきと思う事項」
「インターチェンジなど周辺からのアクセスを検討する際に配慮すべきと思う事項」

●第2回ワークショップ概要
日時：令和元年7月27日（土）、28日（日）
討議テーマ：インターチェンジなどアクセスを検討する際の配慮すべき点
参加者：総勢49名

●第3回ワークショップ概要
日時：令和元年9月21日（土）、22日（日）
討議テーマ：各ルート帯（案）が整備される場合、『不安に思うこと』と『不安を解消・低減するアイデア』
参加者：総勢48名

ご意見・お問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所 計画課
電話：0857-22-8435（受付時間8:30～17:15）※土日祝を除く
メール：info-tottori@cgr.mlit.go.jp
ポータルサイト：http://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/road/tottorifukube/index.html



ワークショップ開催の様子

総勢48名の方々にご参加いただき、活発なワークショップを開催することができました。

●第一部

開会・レクチャー

国土交通省鳥取河川国道事務所からの挨拶の後、前回（第2回）のワークショップ結果について説明を行いました。



▲開会挨拶



▲前回ワークショップのおさらい

●第二部

自己紹介

ワークショップを始める前にグループごとに自己紹介を行いました。



▲自己紹介の様子①



▲自己紹介の様子②

はじめに

事務局から討議テーマやワークショップの手順、また留意点等の説明を行いました。



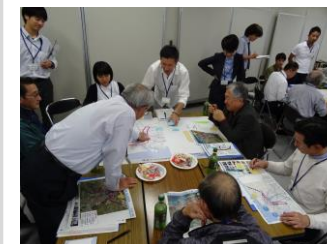
▲討議テーマの説明



▲ワークショップの進め方の説明

グループワーク

各テーブルの進行役を中心に参加者のみなさまから多くのご意見、アイデアをいただきました。



▲各グループの話し合いの様子

各グループの結果紹介

書記としてお手伝いいただいた、鳥取大学の学生による各グループの発表が行われました。



▲各グループの結果紹介の様子

総評

最後にアドバイザーの鳥取大学 谷本先生、長曽我部先生に各グループの発表について総評をいただきました。



▲総評

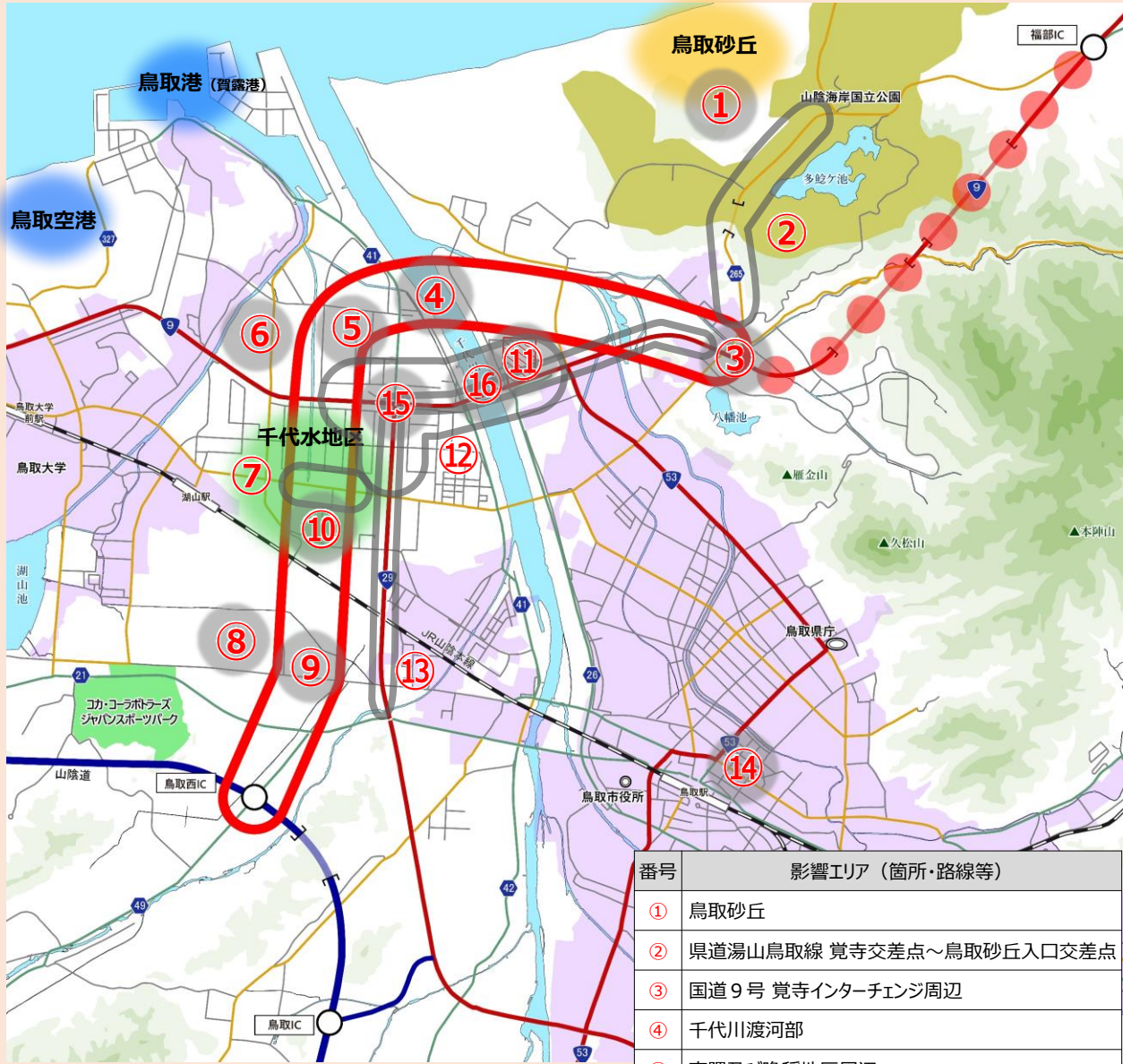
テーマ：「各ルート帯（案）が整備される場合、『不安に思うこと』と『不安を解消・低減するアイデア』について考えてみよう！」

【案①】全線バイパス案についてのみなさまの主なご意見

影響エリアの番号は、右図「各ルート帯（案）が整備される場合『不安に思うこと』影響エリア（箇所・路線等）」に対応しています。

分野	不安に思うこと(みなさまのご意見)			不安を解消・低減するアイデア(みなさまのご意見)	
	分類	不安に思うこと	影響 エリア	分類	アイデア
渋滞・ 事故	交通の増加による 渋滞・事故	・新しい道路が整備されて観光客が増えれば、鳥取砂丘への交通渋滞の悪化が懸念される	②,③	周辺道路の改良	・鳥取砂丘へのアクセス道路を合わせて整備する
		・既存の道路を通過する交通量の増加により、渋滞の悪化や事故の危険性が増す	⑤,⑬		・市街地に新たな交通を呼び込むことになるため、市街地の渋滞・事故が悪化しないよう、道路拡幅等を行う
インター チェンジ	インターチェンジ 接続道路での 新たな渋滞・事故	・インターチェンジから各拠点へアクセスしやすい道路の追加が必要である	全般	周辺道路の改良	・鳥取空港、鳥取港、鳥取砂丘などの各拠点へのアクセス道路を合わせて整備する
		・インターチェンジが接続することで、交通量の増加や交通の流れの変化により、新たな渋滞や事故が発生する	全般		・新規道路だけでなく、周辺道路の改良もあわせて実施する
自然環境	自然環境への 影響	・道路整備により、千代川に橋が架かる場合、自然破壊に配慮が必要である	④	建設工事の工夫	・工事の範囲を少なくするなど、自然環境への影響を低減するために様々な工夫をする
		・道路構造物によって、農地など自然環境が破壊される	⑥,⑧		
災害	自然災害	・水害等の自然災害に対し、強靱な道路構造にしてほしい	全般	道路構造の工夫	・水害時に、道路ネットワークの機能が維持できるように、道路が高い位置を通る構造にする
景観	景観の悪化	・高規格の道路ができると、景観が損なわれる。特に、千代川にかかる橋梁は目立つため、景観への影響が大きい	④	道路構造の工夫 ・付帯施設の整備	・橋梁のデザインや色合いは景観上重要であるため、観光資源との調和やシンボリックな構造物を採用する
		・観光は鳥取の重要な産業であり、鳥取砂丘も近いため、景観に十分な配慮が必要である	①		・透明な遮音壁の設置など、地域の景観や眺望を活かす設備を採用する
		・新たな道路整備により、大山が見えなくなる	全般		
地域分断	地域分断	・新たな道路整備により、地域が分断され、地域間の往来が阻害される	全般	道路構造の工夫	・地域の既存の往来を妨げないように、高架や地下構造とする
		・町内会等の地域コミュニティが崩壊する恐れがある	全般	ルート検討	・住宅の移転が極力少なく済むようなルートにする
生活環境 への影響	沿線地域への 騒音	・市街地を通るルートであり、新たな道路整備による交通量の増加によって、沿線地域への騒音問題が発生する	全般	道路構造の工夫 ・付帯施設の整備	・市街地を通過する区間については、低騒音舗装や遮音壁設置など、出来る限り低減する工夫を行う
	病院、小学校等 への騒音	・県立中央病院や世紀小学校への走行音などの騒音が問題である	⑨,⑪	その他	・周辺環境の悪化を招かないように、事前に十分な調査を行う
	排気ガス	・沿線に農地が広がる区間もあり、大気質の悪化による農業者への影響が生じる	⑥,⑧		・道路沿線の農地に影響を及ぼさないよう、道路排水の農地流入防止など対策を行う
	農地への影響	・道路排水が農地に流入することで、道路沿線の農地に悪影響を及ぼす	⑥,⑧		
工事	工事による渋滞	・通行規制、工事車両の増加などにより、周辺道路が渋滞する	⑦,⑩, ⑫,⑬, ⑮	建設工事の工夫	・規制時間帯の工夫や迂回路確保、最新工法の適用など、工事の影響を軽減するために様々な工夫をする
	工事による周辺 環境への影響	・工事により、地盤沈下や水質汚濁、騒音や振動など、周辺環境の悪化を招く	全般		
	工事期間	・建設工事が長期にわたり、地域住民への負担が大きくなる	全般	その他	・工事の際には、近隣住民への周知や説明をしっかりと丁寧に行う
中心市街地の 活性化	中心市街地	・中心市街地の素通りにより、観光客の来訪が減少し、経済面の損失を招く	⑭	関連施策の推進 ・情報提供の充実	・通過地点とならないため、案内表示の充実や道の駅の整備、市街地そのものの魅力作りを進める
その他	冬期雪害	・橋梁部分は、冬期に凍結しやすく、走行時の安全性に問題が起きる	全般	適切な維持管理 の実施	・冬期でも安定した走行ができるように、除雪など適切な道路の雪防災を行う
	本線の走行性	・新たな道路整備により、生活利用の交通も流入するため、本線の走行性が低下する	全般	道路構造の工夫	・本線部に追越車線や待避所を設置する
	高齢者への配慮	・高齢者が多く、自動車依存も高いため、高齢者への配慮が必要である	全般	情報提供の充実	・高齢者でも安心して走行できるように、信号機や標識を的確に設置する
	マナー	・県外からの来訪者も多く、マナー意識が低いため、高架下へのゴミ投棄など問題が懸念される	全般	啓発活動の推進	・道路利用者のマナー向上のため、各自の意識を高める啓発活動を行う

各ルート帯（案）が整備される場合『不安に思うこと』影響エリア（箇所・路線等）



- : 影響エリア（箇所）
- : 影響エリア（路線）
- : ルート帯（案）
- : 現道活用区間（案）

凡例（道路・鉄道）	
	高規格幹線道路
	直轄国道
	主要地方道
	一般県道
	その他道路
	鉄道

凡例（拠点・施設）	
	人口集中地区（H27）
	広域防災拠点
	海岸・公園
	河川・池
	物流拠点
	交流拠点（空港・港湾）
	主要観光拠点
	高次医療施設

番号	影響エリア（箇所・路線等）
①	鳥取砂丘
②	県道湯山鳥取線 覚寺交差点～鳥取砂丘入口交差点
③	国道9号 覚寺インターチェンジ周辺
④	千代川渡河部
⑤	南隈及び晩稲地区周辺
⑥	賀露町地区周辺
⑦	県道伏野覚寺線 千代水西交差点～安長北交差点
⑧	里仁地区周辺
⑨	世紀小学校
⑩	千代水地区周辺
⑪	県立中央病院
⑫	国道29号 安長北交差点～南隈交差点、 国道9号 南隈交差点～秋里交差点
⑬	国道29号 国体道路交差点～南隈交差点、 国道9号 南隈交差点～覚寺交差点
⑭	鳥取駅周辺
⑮	国道9号 南隈交差点周辺
⑯	国道9号 鳥取大橋

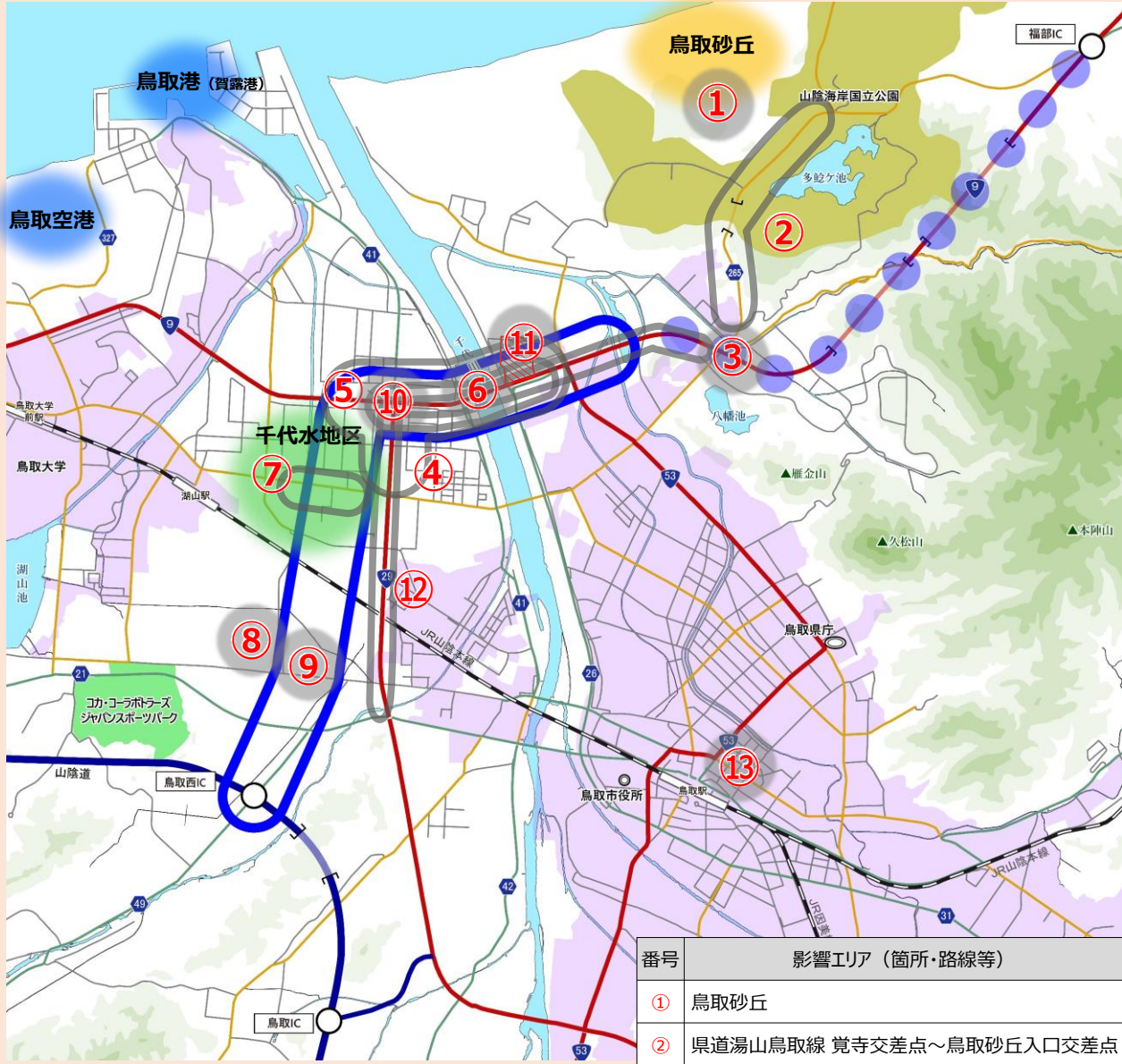
テーマ：「各ルート帯（案）が整備される場合、『不安に思うこと』と『不安を解消・低減するアイデア』について考えてみよう！」

【案②】 部分バイパス＋現道立体化案についてのみなさまの主なご意見

影響エリアの番号は、右図「各ルート帯（案）が整備される場合『不安に思うこと』影響エリア（箇所・路線等）」と対応しています。

分野	不安に思うこと(みなさまのご意見)			不安を解消・低減するアイデア(みなさまのご意見)	
	分類	不安に思うこと	影響 エリア	分類	アイデア
渋滞・ 事故	交通の増加による 渋滞・事故	・新しい道路が整備されて観光客が増えれば、鳥取砂丘への交通渋滞の悪化が懸念される	②,③	周辺道路の改良	・鳥取砂丘へのアクセス道路を合わせて整備する
		・既存の道路を通過する交通量の増加により、渋滞の悪化や事故の危険性が増す	⑩		・市街地に新たな交通を呼び込むことになるため、市街地の渋滞・事故が悪化しないよう、道路拡幅等を行う
インター チェンジ	インターチェンジ 接続道路での 新たな渋滞・事故	・インターチェンジから各拠点へアクセスしやすい道路の追加が必要である	全般	周辺道路の改良	・鳥取空港、鳥取港、鳥取砂丘などの各拠点へのアクセス道路を合わせて整備する
		・インターチェンジが接続することで、交通量の増加や交通の流れの変化により、新たな渋滞や事故が発生する	全般		・新規道路だけでなく、周辺道路の改良もあわせて実施する
自然環境	自然環境への 影響	・道路整備により、千代川に橋が架かる場合、自然破壊に配慮が必要である	⑥	建設工事の工夫	・工事の範囲を少なくするなど、自然環境への影響を低減するために様々な工夫をする
		・道路構造物によって、農地など自然環境が破壊される	⑧		
災害	自然災害	・水害等の自然災害に対し、強靱な道路構造にしてほしい	全般	道路構造の工夫	・水害時に、道路ネットワークの機能が維持できるように、道路が高い位置を通る構造にする
景観	景観の悪化	・高規格の道路ができると、景観が損なわれる。特に、千代川にかかる橋梁は目立つため、景観への影響が大きい	⑥	道路構造の工夫 ・付帯施設の整備	・橋梁のデザインや色合いは景観上重要であるため、観光資源との調和やシンボリックな構造物を採用する
		・観光は鳥取の重要な産業であり、鳥取砂丘も近いため、景観に十分な配慮が必要である	①		・透明な遮音壁の設置など、地域の景観や眺望を活かす設備を採用する
		・新たな道路整備により、大山が見えなくなる	全般		
地域分断	地域分断	・新たな道路整備により、地域が分断され、地域間の往来が阻害される	全般	道路構造の工夫	・地域の既存の往来を妨げないように、高架や地下構造とする
		・町内会等の地域コミュニティが崩壊する恐れがある	全般	ルート検討	・住宅の移転が極力少なく済むようなルートにする
生活環境 への影響	沿線地域への 騒音	・市街地を通るルートであり、新たな道路整備による交通量の増加によって、沿線地域への騒音問題が発生する	全般	道路構造の工夫 ・付帯施設の整備	・市街地を通過する区間については、低騒音舗装や遮音壁設置など、出来る限り低減する工夫を行う
	病院、小学校等 への騒音	・県立中央病院や世紀小学校への走行音などの騒音が問題である	⑨,⑪	その他	・周辺環境の悪化を招かないように、事前に十分な調査を行う
	排気ガス	・沿線に農地が広がる区間もあり、大気質の悪化による農業者への影響が生じる	⑧		・道路沿線の農地に影響を及ぼさないように、道路排水の農地流入防止など対策を行う
	農地への影響	・道路排水が農地に流入することで、道路沿線の農地に悪影響を及ぼす	⑧	付帯施設の整備	
工事	工事による渋滞	・通行規制、工事車両の増加などにより、周辺道路が渋滞する	④,⑤, ⑥,⑦, ⑫	建設工事の工夫	・規制時間帯の工夫や迂回路確保、最新工法の適用など、工事の影響を軽減するために様々な工夫をする
	工事による周辺 環境への影響	・工事により、地盤沈下や水質汚濁、騒音や振動など、周辺環境の悪化を招く	全般		
	工事期間	・建設工事が長期にわたり、地域住民への負担が大きくなる	全般	その他	・工事の際には、近隣住民への周知や説明をしっかりと丁寧に行う
中心市街地の 活性化	中心市街地	・中心市街地の素通りにより、観光客の来訪が減少し、経済面の損失を招く	⑬	関連施策の推進 ・情報提供の充実	・通過地点とならないため、案内表示の充実や道の駅の整備、市街地そのものの魅力作りを進める
その他	冬期雪害	・橋梁部分は、冬期に凍結しやすく、走行時の安全性に問題が起きる	全般	適切な維持管理 の実施	・冬期でも安定した走行ができるように、除雪など適切な道路の雪防災を行う
	本線の走行性	・新たな道路整備により、生活利用の交通も流入するため、本線の走行性が低下する	全般	道路構造の工夫	・本線部に追越車線や待避所を設置する
	高齢者への配慮	・高齢者が多く、自動車依存も高いため、高齢者への配慮が必要である	全般	情報提供の充実	・高齢者でも安心して走行できるように、信号機や標識を的確に設置する
	マナー	・県外からの来訪者も多く、マナー意識が低いため、高架下へのゴミ投棄など問題が懸念される	全般	啓発活動の推進	・道路利用者のマナー向上のため、各自の意識を高める啓発活動を行う

各ルート帯（案）が整備される場合『不安に思うこと』影響エリア（箇所・路線等）



●	：影響エリア（箇所）
○	：影響エリア（路線）
○	：ルート帯（案）
●●●	：現道活用区間（案）
凡例（道路・鉄道）	
■	高規格幹線道路
—	直轄国道
—	主要地方道
—	一般県道
—	その他道路
—	鉄道

凡例（拠点・施設）	
●	人口集中地区（H27）
●	広域防災拠点
●	海岸・公園
●	河川・池
●	物流拠点
●	交流拠点（空港・港湾）
●	主要観光拠点
■	高次医療施設

番号	影響エリア（箇所・路線等）
①	鳥取砂丘
②	県道湯山鳥取線 覚寺交差点～鳥取砂丘入口交差点
③	国道9号 覚寺インターチェンジ周辺
④	国道29号 安長北交差点～南隈交差点、国道9号 南隈交差点～秋里交差点
⑤	国道9号 南隈交差点～秋里交差点
⑥	国道9号 鳥取大橋
⑦	県道伏野覚寺線 千代水西交差点～安長北交差点
⑧	里仁地区周辺
⑨	世紀小学校
⑩	国道9号 南隈交差点周辺
⑪	県立中央病院
⑫	国道29号 国体道路交差点～南隈交差点、国道9号 南隈交差点～覚寺交差点
⑬	鳥取駅周辺

テーマ：「各ルート帯（案）が整備される場合、『不安に思うこと』と『不安を解消・低減するアイデア』について考えてみよう！」

【案③】部分バイパス＋現道活用案についてみなさまの主なご意見

影響エリアの番号は、右図「各ルート帯（案）が整備される場合『不安に思うこと』影響エリア（箇所・路線等）」と対応しています。

分野	不安に思うこと(みなさまのご意見)			不安を解消・低減するアイデア(みなさまのご意見)	
	分類	不安に思うこと	影響 エリア	分類	アイデア
渋滞・ 事故	交通の混在による 渋滞・事故	・鳥取環状道路に、新たに交通が流入すると、渋滞や安全面でリスクがある	⑤	道路構造の工夫	・現道区間の再整備（高速道と生活道の分離）により、渋滞や事故を解消する
	交通の増加による 渋滞・事故	・新しい道路が整備されて観光客が増えれば、鳥取砂丘への交通渋滞の悪化が懸念される ・既存の道路を通過する交通量の増加により、渋滞の悪化や事故の危険性が増す	①,② ③,⑨	周辺道路の改良	・鳥取砂丘へのアクセス道路を合わせて整備する ・市街地に新たな交通を呼び込むことになるため、市街地の渋滞・事故が悪化しないよう、道路拡幅等を行う
インター チェンジ	インターチェンジ 接続道路での 新たな渋滞・事故	・インターチェンジから各拠点へアクセスしやすい道路の追加が必要である	全般	周辺道路の改良	・鳥取空港、鳥取港、鳥取砂丘などの各拠点へのアクセス道路を合わせて整備する
		・インターチェンジが接続することで、交通量の増加や交通の流れの変化により、新たな渋滞や事故が発生する	全般		・新規道路だけでなく、周辺道路の改良もあわせて実施する
自然環境	自然環境への 影響	・道路整備により、千代川に橋が架かる場合、自然破壊に配慮が必要である	⑦	建設工事の工夫	・工事の範囲を少なくするなど、自然環境への影響を低減するために様々な工夫をする
		・道路構造物によって、農地など自然環境が破壊される	⑧		
災害	千代川氾濫時	・豪雨等で千代川が氾濫した場合、水害で鳥取環状道路が使用不能になる	⑤	道路構造の工夫	・水害時に、道路ネットワークの機能が維持できるように、道路が高い位置を通る構造にする
	自然災害	・水害等の自然災害に対し、強靱な道路構造にしてほしい	全般		
景観	景観の悪化	・高規格の道路ができると、景観が損なわれる。特に、千代川にかかる橋梁は目立つため、景観への影響が大きい	⑦	道路構造の工夫 ・付帯施設の整備	・橋梁のデザインや色合いは景観上重要であるため、観光資源との調和やシンボリックな構造物を採用する
地域分断	地域分断	・新たな道路整備により、地域が分断され、地域間の往来が阻害される	全般	道路構造の工夫	・地域の既存の往来を妨げないように、高架や地下構造とする
		・町内会等の地域コミュニティが崩壊する恐れがある	全般	ルート検討	・住宅の移転が極力少なく済むようなルートにする
生活環境 への影響	沿線地域への 騒音	・市街地を通るルートであり、新たな道路整備による交通量の増加によって、沿線地域への騒音問題が発生する	全般	道路構造の工夫 ・付帯施設の整備	・市街地を通過する区間については、低騒音舗装や遮音壁設置など、出来る限り低減する工夫を行う
	病院への騒音	・県立中央病院への走行音などの騒音が問題である	④		
	排気ガス	・沿線に農地が広がる区間もあり、大気質の悪化による農業者への影響が生じる	⑧	その他	・周辺環境の悪化を招かないように、事前に十分な調査を行う
	農地への影響	・道路排水が農地に流入することで、道路沿線の農地に悪影響を及ぼす	⑧	付帯施設の整備	・道路沿線の農地に影響を及ぼさないように、道路排水の農地流入防止など対策を行う
工事	工事による渋滞	・通行規制、工事車両の増加などにより、周辺道路が渋滞する	⑥	建設工事の工夫	・規制時間帯の工夫や迂回路確保、最新工法の適用など、工事の影響を軽減するために様々な工夫をする
	工事による周辺 環境への影響	・工事により、地盤沈下や水質汚濁、騒音や振動など、周辺環境の悪化を招く	全般		
	工事期間	・建設工事が長期にわたり、地域住民への負担が大きくなる	全般	その他	・工事の際には、近隣住民への周知や説明をしっかりと丁寧に行う
その他	冬期雪害	・橋梁部分は、冬期に凍結しやすく、走行時の安全性に問題が起きる	全般	適切な維持管理の 実施	・冬期でも安定した走行ができるように、除雪など適切な道路の雪防災を行う
	本線の走行性	・新たな道路整備により、生活利用の交通も流入するため、本線の走行性が低下する	全般	道路構造の工夫	・本線部に追越車線や待避所を設置する
	高齢者への配慮	・高齢者が多く、自動車依存も高いため、高齢者への配慮が必要である	全般	情報提供の充実	・高齢者でも安心して走行できるように、信号機や標識を的確に設置する
	マナー	・県外からの来訪者も多く、マナー意識が低いため、高架下へのゴミ投棄など問題が懸念される	全般	啓発活動の推進	・道路利用者のマナー向上のため、各自の意識を高める啓発活動を行う

：案①～③共通の『不安に思うこと』や『アイデア』

